

# 桑名市の認知症に対する取組について



本物力こそ桑名力



ゆめ はまちゃん

平成27年6月11日  
桑名市中央地域包括支援センター

# 桑名市の「認知症施策推進事業」

## 認知症ケアに関する 地域住民に対する普及啓発

- 「認知症市民公開講座」の開催
- 「オレンジカフェ」(仮称)の開催
- 「介護・医療連携推進会議」  
又は「運営推進会議」の活用

## 認知症ケアに関する 地域資源の「見える化」

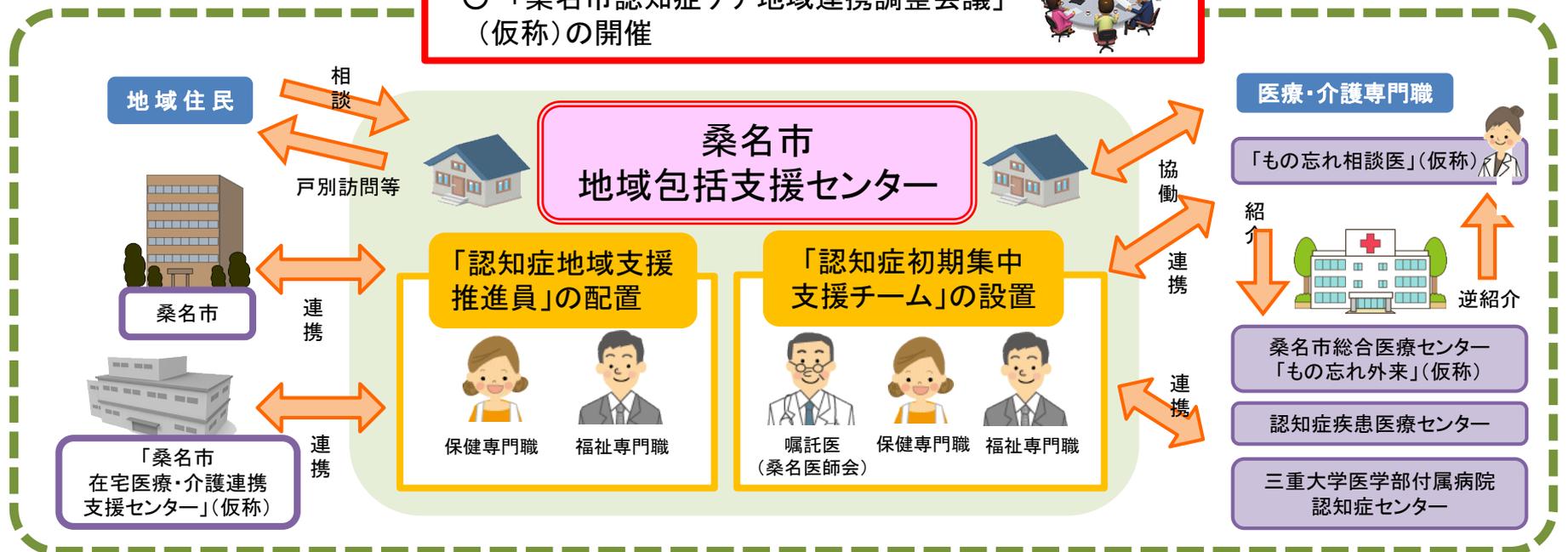
- 地域で標準的な認知症ケアの流れを  
日常生活圏域ごとに明らかにする  
「桑名市認知症ケアパス」(仮称)の  
公表

## 認知症ケアに関する 医療・介護専門職に対する研修

- 「認知症専門職講演会」の開催
- 「認知症ケア多職種協働研修会」  
(仮称)の開催

## 認知症ケアに関する地域連携

- 「桑名市認知症ケア地域連携調整会議」  
(仮称)の開催



# 認知症地域支援推進員の配置

- 認知症について、
  - ① 危機の発生を前提とする「事後的な対応」から
  - ② 危機の発生を防止する「事前的な対応」への構造的な転換を実現するため、認知症施策を推進する体制を整備することは、重要。



- 平成26年9月以降、順次、桑名市地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置。



「認知症地域支援推進員」

中央地域包括支援センター	主任介護支援専門員(保健師)
北部東地域包括支援センター	主任介護支援専門員(社会福祉士)
西部地域包括支援センター	主任介護支援専門員 (看護師・社会福祉士)
南部地域包括支援センター	主任介護支援専門員 (看護師・社会福祉士)
中央地域包括支援センター	保健師

(研修受講順)





# 認知症ケアパスの作成(2)

認知症ケアパスの一環として、「認知症サポート医養成研修」又は「かかりつけ医 認知症対応力向上研修」を修了した医師など、認知症に関する相談に対応する医師(「もの忘れ相談医」)についてのリストもあわせて作成

## もの忘れ相談医リスト ～認知症の相談ができる医療機関～

	医療機関名	医師名	住所	電話番号	サポート医	かかりつけ医
1	桑名病院	竹村 茂之	京橋30	22-0460	○	
2	長島中央病院	安井のり子	長島町福吉271	45-0555	○	○
3	坂井橋クリニック	廣田 久佳	雲川11011-1	31-4553		○
4	多産あやめ病院	平田 春夫	多産町柏井1702	48-2171		
5	浜島外科	浜島 望	江富20	21-3381	○	
6	いどう医院	伊藤 吾郎	中山町40	31-2022		
		伊藤 寿朗				
7	伊藤内科クリニック	伊藤 勉	赤尾1344-3	31-4080	○	
8	ウェルネス医療クリニック	多胡 光孝	新西方3丁目218番	24-6914	○	○
		多胡恵理子				
9	小沢医院	小澤 博哉	長島町又木市街2-1	42-3337		
10	総合内科	藤合 敏弘	西方1583-1	23-6622		
		藤合 裕美				
11	久藤クリニック	久藤 弘	東方字打上田232	22-0800	○	○
		菅原 孝之				
12	桑名クリニック	岡本 祐一	長島町藤原573 ペイサイド1F	45-8111		
13	小坂医院	小坂穂男子	長島町押付525-6	42-0014		
		小坂 俊仁				
14	しばはらメンタルクリニック	柴原 清与	福徳748 AAビル3F	27-1000		○
15	すがいクリニック	菅井 博哉	中央町1丁目17 (CTビル2F)	22-1550	○	○
16	田中クリニック	田中 孝幸	青葉町1丁目13番	27-7800	○	○
17	辻クリニック	辻 理	明正通2丁目464	27-6111	○	

	医療機関名	医師名	住所	電話番号	サポート医	かかりつけ医
18	永田内科医院	永田 俊彌	西別所1200-312	23-0855		
19	ひがし豊穂科外科	東 俊策	藤が丘9丁目109	24-8777	○	
20	ふくい心クリニック	福井 康治	北別所1841-1	87-5071		
21	古田医院	古田 純一	大仲新田屋敷327-2	31-8555		
22	松原クリニック	松原 究	桑名町2 (桑栄メイト3階)	21-0366		
23	メディカルオフィス・くわな	谷本 功	隠だまりの丘7丁目1510	33-1616		○
24	森医院	森 秀夫	成徳町1625-12	24-0876		
25	山室内科	山室 匠史	多産町小山1875	48-2100		

### 認知症サポート医とは

認知症の診断に精通し、かかりつけ医への助言その他支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師

### 認知症かかりつけ医とは

適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得するための研修を修了した医師

### 桑名市総合医療センターの「もの忘れ外来」、もの忘れの診断・検査について

	桑名東医療センター	桑名西医療センター	桑名南医療センター
診療場所	神経内科外来	脳神経外科外来	内科外来
専門外来(名称)	もの忘れ外来	通常の外来診療の範囲内で認知症(もの忘れ)の診断・検査を実施	もの忘れ外来
診療日時	毎週水曜日 午前9時～正午	毎週月・水～金曜日 (診療受付時間) 午前8時30分～11時30分	毎月第3木曜日 午前9時～正午 午後1時～午後3時
担当医	三重大学医学部附属病院 神経内科 助教 水田 博隆	脳神経外科部長 村松 正俊	示野大学東海アジテ研究所 藤澤 道子
備考	原則予約診療/ 医院からの紹介患者	原則予約診療/ 医院からの紹介患者 その他の治療(フォローアップ)は認知症サポート医に紹介	予約診療/ 非紹介でも受診可

# 認知症初期集中支援チームの設置

- 認知症について、
  - ① 危機の発生を前提とする「事後的な対応」から
  - ② 危機の発生を防止する「事前的な対応」への構造的な転換を実現するため、  
認知症施策を推進する体制を整備することは、重要。



- 平成27年4月1日に、各地域包括支援センター(中央除く)5カ所に設置。
  - ・チーム員:各地域包括支援センターの保健専門職1名、福祉専門職1名  
および桑名医師会から推薦された嘱託医1名の計3名
  - ・訪問支援対象者の把握:桑名市日常生活圏域ニーズ調査「いきいき・くわな」に基づくデータを活用し、医療サービス、介護サービスを受けていない方で支援が必要な方を発掘する。
  - ・情報収集及び観察・評価:本人、家族の状況等の情報収集およびDASK等を用いた、アセスメントを行う。
  - ・チーム員会議の開催:各地域包括支援センターのチーム員及び嘱託医で行う。
  - ・引き継ぎ後のモニタリング:医療機関、介護サービスにつながった後の様子を確認する。

# オレンジカフェ(認知症カフェ)

## 認知症カフェ

認知症の方やご家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場



- 平成27年度より各地域包括支援センター(5カ所)において、桑名市と一体となって認知症カフェに相当する「オレンジカフェ」を開催。
- 開催場所は、各圏域の事業所の空スペースや寺など。
- 年間29回開催予定



# オレンジカフェ(認知症カフェ)

## 交流や相談 桑名市が認知症カフェ

桑名市は11日、認知症の人やその家族が気軽に集える「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を今月21日からスタートさせると発表した。だれもが自由に入力りできる場をつくることにより、認知症の本人と家族を地域で支えていこうという試み。市内の各地域包括支援センターが介護サービス施設などの一角を利用して開催する。

### 21日から28回予定

「カフェ」では参加者に菓子や飲み物を提供し、ゲームやレクリエーションを実施する。専門家も待機して、家族らの相談にも応じる。初回は、今月21日に居宅介護支援施設「ナッシングホームもも桑名」(筒尾1の13の1、午後1時半～3時)と、デイサービスセンター「ケアパーク和月」(太夫123の2、午後1時半～4時)で開催する。参加無料。来年3月までに計28回を予定している。開催日時と場所は随時、市のホームページに掲載する。実費負担となる「カフェ」もあるという。

## 認知症見守る「カフェ」

### 患者と家族・地域住民集う

認知症の人やその家族が交流できる「オレンジカフェ」



エ」が21日、桑名市でスタートした。地域住民を含め、誰もが気軽に参加できる場をつくることにより、認知症の患者本人と家族を地域で支えようという試み。初日はグループホーム「ケアパーク和月」など2か所で開かれ、ケアパーク和月のカフェには患者本人と家族、民生委員、地元

▲ ボールを使った運動を楽しむ参加者

## 認知症者や家族 地域住民と交流

### 桑名市 21日に支援カフェ

桑名市は本年度から、認知症の人やその家族を支援する「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を始める。初回は21日に市内2カ所で開かれる。

認知症の初期の人や家族、地域住民が集ってお茶を飲み、ゲームやレクリエーションを通して交流する。認知症の人が安心

して出掛けられ、社会参加もできる場所に、家族は介護支援専門員や社会福祉士ら専門職に相談することができる。

厚生労働省の「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」に盛り込まれた取り組み。県長寿介護課によると、県内では津市や三重大付属病院などが開いているが、まだ少ないという。

桑名市では市内の各地域包括支援センターが主体となる。担当者は「地域住民には接し方な

どを知るきっかけにしてもらい、地域全体での見守り体制へとつなげたい」と話す。

本年度は28回を予定し、参加費が必要な回もある。場所は介護関連事業所の空きスペースや寺などを利用する。21日は「ナッシングホームもも桑名」(筒尾1)と「ケアパーク和月」(太夫)でいずれも午後1時半から、参加無料。

◎中央地域包括支援センター =0594(24)5104

(渡辺聖子)

「カフェ」は今年度、28回開かれる。